

第8回地域活性化フォーラム

来るべき南海トラフ地震に いかに向き合うか

～正しく学び、正しく恐れ、正しく備える～

平成
31年



1月14日 月祝

時間:13時30分～16時30分(開場13時)

南海トラフ地震はいうまでもなく記録的暴風雨など、大規模な災害のリスクが年々増加している。それによる壊滅的な被害を軽減するためには、少しでも被害を和らげようとする事前の減災の取り組みの強化が避けられない。その減災の取り組みに当たっては、阪神・淡路大震災などの教訓に学ぶこと、自然が凶暴化し社会が脆弱化する中でリスクを正しく捉えること、そのうえで実行管理を徹底した備えが欠かせない。今一度、大災害への備えのありかたを問い直す。

13:30 開 会

13:40 基調講演

来るべき南海トラフ地震にいかに向き合うか

～正しく学び、正しく恐れ、正しく備える～ 講師 室崎 益輝 氏

15:10 休 憩

15:25 フリーディスカッション
コーディネーター

高知県立大学大学院看護学研究科 特任教授 南 裕子

16:30 閉 会

定員 200名 入場料 無料(事前申込)

[場 所] 高知県立大学永国寺キャンパス教育研究棟1階 A101講義室

[対 象] どなたでも(防災に関心のある方に特におすすめ) [お申込み] 裏面申込書、または電子メールにてお申込みください



兵庫県立大学大学院
減災復興政策研究科科長
室崎 益輝 氏
(ムロサキ ヨシテル)

[プロフィール] 1944年生まれ。京都大学工学研究科建築学専攻終了、神戸大学都市安全研究センター教授、消防庁消防研究センター所長、関西学院大学総合政策学部教授などを経て、現職。日本火災学会会長、日本災害復興学会会長、地区防災計画学会会長などを歴任。著書に、「地域計画と防火」、「建築防災・安全」など。日本火災学会賞、建築学会論文賞、防災功労者内閣総理大臣表彰、兵庫県社会賞、神戸新聞平和賞などを受賞



高知県立大学大学院
看護学研究科特任教授
南 裕子
(ミナミヒロコ)

[プロフィール] 高知県立大学前学長。現在はDNGL(災害看護グローバルリーダー)養成プログラム責任者としてプログラムを統括。日本看護協会会長、世界看護師協会会長を歴任したグローバルリーダーでもある。阪神淡路大震災の経験をもとに日本の災害看護の支援体制を確立し、災害看護支援モデルを構築。そのモデルは世界的に活用されている。また、災害の経験を体系化し、日本災害看護学会・世界災害看護学会の礎を築いた災害看護学の第一人者である。

お問合せ先

高知県立大学地域教育研究センター

〒780-8515 高知県高知市永国寺町2番22号 永国寺キャンパス地域連携棟3階 TEL:088-821-7125
http://www.u-kochi.ac.jp/ mail: aeru@cc.u-kochi.ac.jp 後援:高知県

参加申込書

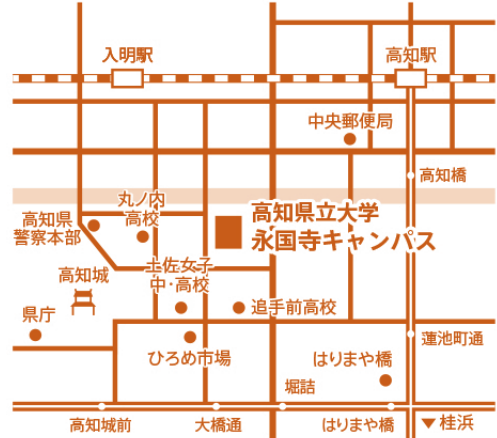
FAX . 088-821-7126

申込締切：1月4日(木)

高知県立大学公開講座

**来るべき南海トラフ地震に
いかに向き合うか**

～正しく学び、正しく恐れ、正しく備える～



	参加者氏名	所属	連絡先
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

※防災組織等に関わる方は所属欄に組織名等をご記入ください

※空席がある場合は当日参加も可能です

[お問合せ先]

高知県立大学 地域教育研究センター(担当:谷/宗石)

TEL. 088-821-7125 FAX. 088-821-7126 E-mail. aeru@cc.u-kochi.ac.jp